

東京大学医学部附属病院において以前に腹部エコー検査を受けた方およびご家族の方へ

東京大学医学部附属病院 消化器内科・検査部では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

【研究課題名】

人工知能の利活用を見据えた超音波デジタル画像のデータベース構築

【対象となる方】

1997年1月1日～2019年8月31日に東京大学医学部附属病院・消化器内科において肝疾患の診察及び治療を受けた患者さん

【研究の目的と意義】

腹部エコーで発見された腫瘍性病変の良悪性の判断は時に熟練した医師にも難しいことがあります。近年コンピューターを用いた画像認識は急速に進んできており、この技術を応用してエコーで認めた腫瘍の質的診断のサポートが得られることはとても有益であると考えております。画像認識技術の利活用を目的とし、日本超音波医学会の主導で超音波画像およびその付帯情報の巨大データベースを作成することが本研究の目的です。本研究では、腹部超音波、乳腺超音波、心臓超音波検査の画像データベースを構築しますが、東京大学医学部附属病院では、腹部超音波のデータ提供施設として研究に参加します。

【研究の方法】

腹部超音波画像を、その超音波検査所見、採血データとセットで収集します。超音波画像や採血データには符号が割り当てられ、そのみでは個人を特定できない（だれのデータかわからない）ように加工されたのち（匿名化）、京都大学医学研究科医療情報学講座（〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54）に設置された中央データベースに送信され、また国立情報学研究所（〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）にてもデータが蓄積されます。このデータベースは、腹部超音波検査や乳腺超音波検査、心臓超音波検査の診断を行うAIを開発するために利用されます。また、このデータベースのデータは、医師や超音波検査士等の教育のための資料として使用されることもあります。

【利益・不利益】

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

【あなたの人権、個人情報の保護について】

この研究は、東京大学医学部医学系研究科の医学部倫理委員会によって承認された範囲内で行われます。本研究での調査内容は、担当医師やこの研究を手伝っているスタッフを通じて、あなたのお名前など、個人情報特定できる情報は取り除いた上で管理され、本研究の中央データベースへ送信される情報の中にも含まれません。

調査内容は、本研究の研究者により日本や海外の医学雑誌や学会、ホームページ上で発表されることもあります。いずれの場合もあなたのお名前やご住所など、個人を特定できるような情報はいっさい東京大学医学部医学系研究科以外へはできません。

【研究への参加辞退をご希望の場合】

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では東京大学医学部附属病院において既に実施している検査結果を使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。辞退されます場合には、可能な限り削除をさせていただきます。

本研究への参加は患者さんの自由意思であり、参加の辞退を希望されても患者さんやそのご家族が不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、下記の担当医師へご連絡下さい。患者さんご本人のみでなく、ご家族からの辞退のご希望にも可能な限り沿って対応いたします。

いつでも相談窓口(担当医師)にご相談下さい。

【お問い合わせ先】

連絡先：

東京大学医学部附属病院・検査部（消化器内科医師） 佐藤 雅哉（研究分担者）

Tel: 03-3815-5841（内線 35007, 33070） Fax: 03-5689-0495

住所：東京都文京区本郷 7-3-1